

初の3位 4人目快挙

湯浅、極限の滑り

男子回転

湯浅直樹(スポーツアルペン)が日本男子4人目の表彰台に立った。イタリアのマドンナディカンピリオであった第3戦で、2回の合計で1分44秒78を記録し、自身初となる3位に入った。

スキー アルペン 18日 W杯

日本男子のエース、湯浅が念願の表彰台に立った。アルペン男子では4人目の快挙に「信じられない」。興奮冷めやらぬ声で振り返った。腰痛を抱えての本番。1回目のタイムは54秒13。全



W杯アルペンの男子回転で3位に入り、手を上げて喜ぶ湯浅直樹—EPA時事

■アルペンW杯3位以内の日本勢

【男子】

1988年	岡部哲也	回転 2位
90年	岡部哲也	回転 3位
98年	木村公宣	回転 3位
2003年	佐々木明	回転 2位
06年	佐々木明	回転 2位
	佐々木明	回転 2位
12年	湯浅直樹	回転 3位

【女子】

1993年	川端絵美	滑降 3位
-------	------	-------

(注)複合は除く (時事)

2011年の世界選手権回転で6位入賞。昨季のW杯回転では、5位に2度入るなど、世界で戦える力を蓄えてきた。今回も、2回目で大きく順位を上げて3位に食い込んだレースは、価値が高い。W杯の表彰台からしばらく遠ざかっていたアルペン日本男子にとって、頼もしい存在となってきた。(時事)

体で26位と大きく出遅れた。だが、「2回目を棄権しようなんて考えなかった。順位を上げることだけを考えた」と決して諦めなかった。2回目は果敢に攻めて、全体で2番目の50秒65をマーク。「この状態で滑れるなんて誰が想像できたか。自分でも最後(の滑り)は覚えていない」。極限まで自身を追い込んだ滑りで、3位の座をつかみ取った。